

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

10日には、pm2.5が85を昼の4時間くらい超えていました。職員に聞いたら、外にいたらのどがいたかった、などと言っていましたので、影響を受けた人もいますようです。

10月14日（月）

2学期最初の日です。と、いっても4日間しか休んでいないので、気分転換というところでしょう。

始業式では、終業式で目標について話をしたので、私が、2学期なにをするかという話し、「学校移転」「台湾の歴史を勉強し直す」「人とのつながりをもっと広げる」という具体的なことを挙げました。子ども達は、それぞれ2学期の目標を堂々と話をしていました。

目標を決めるのは簡単ですが、実行が難しいのは、子どもたちも知っています。でも、その達成度合いを自覚させたり、目標だけでなくその達成方法、達成期日等を子ども達に自覚をさせないと、毎回、目標を立てるだけになります。そんな風になって欲しくはないので、終業式では、6年生の淵本君を指名しました。1学期の途中で学部朝会の時に淵本君に話をしてもらった関係です。方法等も自覚して動いていたようでした。

運動会の練習が全校でありました。pm2.5も34?だったかで低く、問題なくやることができました。閉会式、行進、開会式の練習です。

当校では、職員会議の正式の議題にはなりません。日常の会話では、「日本では行進をしなくなっていますよね。」という話が出ます。私は、だからこそする方がいいと思っています。日本人が台湾人から認められている一つが、一人一人勝手な行動をとらないことができる。（きまって、このような話になると、台湾人は自分で、「台湾人は、ちゃんとした行進はできません」ということになります。）ちゃんとした行動をとるための練習というのもこれからの日本人には必要になってくるような気がします。その行動は、行進を通して、歌うことを通して、授業の規律を通して・・・ということになるでしょう。

始業式の話で、もう一つあります。「私は、小中高12年間で校長先生の話覚えてるのは、中学生の時に、校長先生が寒い朝どのように起きるかという話をして、すぐ起きる、と話をしてくれました。それだけを覚えています。」と話をしました。話を聞いていない態度は、台湾の人々はわかりやすい。すぐとなりと話をしだす。学校での先生の話も

校長の話もぺちやくちゃしゃべっている人が実際います。日本の学校の朝会で、校長の話の途中で、ぺちやくちゃ話をしているというのは、少なくとも私には経験がありません。静かだからといって聞いているとは限りません。が、話をしているというものはありえません。そんな話をして、日本人を自覚してもらいたいと思います。(もちろん、台湾の子どもも大多数は聞いています。)

10月17日(木)

1, 2時間目に運動会の予行練習がありました。係が実際に動けるかとか、入退場が実際できるかとかを確かめました。だいたい、うまくいきました。思わぬハプニング(国旗を揚げようとしたらひもが引っかかりあがらなくなりました。後であがりましたが。)がありました。本番も、練習したようにはできないこともあるでしょう。先生方の話を聞いていると、日本全国どの学校も予行をやっている(ようです)ます。ただ、予行のやり方は少々違うようです。また、小中学校の違いもあり、毎年、少しずつ修正を加えています。(バンコク日本人学校いたときは、運動会のスタートでやり方が、地方、地方で違うらしく、職員会議で1時間もスタートの仕方で議論していました。私は陸上の審判もしていたのですが、運動会だから走り安いようであればどうでもいいと思ってましたが・・・)

10月18日(金)

(18日の分は、午前中に書いています。)

昼には、映画のために写真撮りをして、声を聞くとのこと。その後で監督が決めるということらしいです。小学1~4年生に映画出演の依頼がきました。希望をとり、審査です。日本時代の回想シーンで日本人学校の子どもに出演をしてもらいたいとのこと。

午後は、運動会の会場作りです。5年生以上が担当します。昨日は、李さんが椰子の木にはしごをかけて椰子の実を落としていました。サッカーゴールは、木や壁にひもで縛ってありますので、倒れる心配はありません。

天気予報によれば、明日は、雲が多く、午後場所によっては雨が降る。朝晩の低温に注意とあります。また、PM2.5の予報では、最高でも55ですので、運動会可能な数字です。ただ、ここ1ヶ月で2回基準を超えています。6時には決定します。中止の電話をかけないですむように願っています。